

【全日制】令和7年度赤穂高等学校全日制 学校教育目標および評価項目

学 校 教 育 目 標			重 点 目 標 （ 中・長期的目標 ）	
憲法及び教育基本法の精神に基づき、特に次の事項に留意して教育実践に当たる。 1. 生徒の自主性を高め、個性を伸ばし、社会性を養い、実践力のある社会人の育成に努める。 2. 社会および自然に関する科学的思考力を高め、人文領域への関心を深めさせることで総合的学力の涵養をはかる。 3. 体育及び芸術教育を通して、情操教育を尊重し、心身の調和的発達を期する。 4. 課程・学課の特徴を明確にし、相互の協力をはかるなかで、地域に根ざし、特色の発揮に努める。			1. 自ら学ぶ学習習慣の確立をめざし、自己の進路実現のできる確かな学力を身につけさせる。 2. 社会の形成者として必要な規範意識の向上をはかり、基本的な生活習慣の確立と自律的な行動のできる力を養成する。 3. 地域に根ざし、開かれた学校づくりを推進し、普通科・商業科の特色を発揮できるよう努力する。	
			今 年 度 目 標	
			(1)ICTの活用と双方向の学びづくりを心がけることで、生徒がより主体的かつ協働的になるような教育の実践を目指す。とりわけ、「探究」を学びの中核に据えることで、生徒が課題解決力や柔軟かつ戦略的な思考力を高めながら、希望する進路の実現や資格取得等に繋がられるよう、生徒個々への支援の充実を図っていく。 (2)全教職員が生徒一人ひとりの個性や人権を大切にした教育を実践することで、生徒が思いやりや感謝の気持ちを持ち、他者と関わりながら自信をもって社会生活を送れるような人間性の育成を目指すとともに、心身ともに健康でいじめや体罰のない安全・安心な学校をつくる。 (3)学校が主体的に「目指す学びの姿」を打ち出しながら、地域と連携した学びの推進や生徒・保護者の期待する学校像を踏まえた学びの展開と成果検証を行うことで、赤穂総合学科新校(仮称)の円滑な開校に向けた学校づくりに取り組む。	
領域	対 象		評 価 項 目	評 価 の 観 点
教育活動	教 育 課 程		(1)新校に向けての教育課程を作成する。 (2)総合学科において総時間数と教員の持ち時間数を1週間15時間程度にし、生徒のモチベーションを保つことが可能なカリキュラム作成を行う。	(1)総合学科のカリキュラムの引継ぎがうまくいくシステムを構築できたか。 (2)持ち時間数が15時間に収まるようにカリキュラム作成を行うことができたか。
	進路指導	進 路 指 導	(1)主体的な進路選択と、個に応じた進路実現を支援する。 (2)生徒、職員、保護者に向けた進路情報の共有化を図る。	(1)支援を充実させることができたか。 (2)情報の共有化を図ることができたか。
		キャリア教育	社会的・職業的自立に向けたキャリア教育を推進する。	キャリア教育の推進ができたか。
	学 習 指 導		生徒が探究的な学びを進め、主体的に学ぶ姿勢を育むための学習活動を充実させ、学力向上を目指す。	(1)生徒の意欲喚起につながる授業改革を進めることができたか。 (2)「学習活動の記録」「総合的な探究の時間」について教科・学年・係等の計画・実践を職員間で共有し、次年度への改善策を検討できたか。 (3)補習・特編授業・学びの基礎診断等について教科・学年・係間の連携・調整ができたか。 (4)ポートフォリオを作成させ、生徒の学習意欲維持に働きかけられたか。
	人 権 平 和 育		よりよい社会の実現に主体的に協調して取り組む生徒の育成を目指し、学校生活のあらゆる場面において人権平和学習を推進する。	(1)全校の取り組みとして憲法学習・平和学習・人権学習を実施できたか。 (2)各学年の計画・実践を職員間で共有し、次年度への改善策を共有できたか。 (3)道德教育の全体計画を作成実践できたか。
	図 書	書	(1)楽しく豊かな読書体験ができるような読書環境を整える。 (2)自ら学び自ら考える力を育めるように、教科・探究的な学習・特別活動等と連携して学習の援助を行う。 (3)ICT教育にかかわり、利用者の情報活用能力の向上を支援する。 (4)教職員の教育活動を積極的に援助する。 (5)図書館企画の充実。	(1)図書館だよりやコーナー、掲示等を充実させることができるか。 (2)生徒のリクエストやリファレンスに数多く対応することができるか。 (3)図書館のクラスルームを活用することができるか。電子的資料を活用提供できるか。 (4)教職員の読書活動や教育研究活動を支援することができるか。 (5)図書館独自の行事を充実させることができるか。
		視 聴 覚	(1)芸術(演劇)鑑賞を通じて、芸術に触れる姿勢や態度を育成する。 (2)ICT活用能力と情報モラル教育を推進する。	(1)芸術鑑賞時のマナーを身につけられるか。 (2)探求や情報、特別活動を通じて、ICT教育の推進と情報モラル教育を定着することができたか。
	生 徒 指 導		(1)挨拶の励行・身だしなみの改善を図る。 (2)公共施設等でのマナー・モラルの推進を図る。 (3)生徒が安全で安心して生活できる学校および学習環境整備を図る。 (4)人権教育の推進を図る。	(1)挨拶や身だしなみに自ら気を配る姿勢を身につけられたか。 (2)乗車・自転車マナーなど登下校時の状況に改善の跡が見られたか。 (3)安心して学校生活ができる環境が整えられたか。また、清掃を含め、校舎内の学習環境を整えられたか。 (4)いじめ・暴力などの事案に早期に対応し、毅然とした態度で対応ができたか。
	教 育 相 談		(1)様々な課題を抱える生徒への対応を行う。 (2)いじめが起こらない体制作りを目指す。 (3)学年や関係の係との連携を密にとり、職員間での情報の共有を図る。 (4)関係職員や保護者への支援体制を作る。	(1)課題を抱えている生徒に対して適切な支援・対応ができたか。 (2)職員全体で生徒の言動を把握し、情報の収集ができたか。 (3)定例の会議等で生徒の状況を把握し、担任・学年会・関係の係との連携がとれたか。 (4)スクールカウンセラーや医療機関など、外部との連携がとれたか。また、校内で協力し、支援ができたか。
	生 徒 会		(1)自治活動を通じて社会性・市民性の育成を図る (2)クラブ活動に積極的に参加し、取り組むことのできる環境づくり (3)可能な試みを模索しながら生徒会活動の存続・継承を行う。	(1)生徒会活動を通じて、生徒に成長がみられたか。 (2)クラブ活動への加入率は良好であったか、また、各クラブが目標を持って継続的な活動を行えたか。 (3)これまでの生徒会活動を精査し、活動内容について次世代に継承できたか。
	美 化		(1)校舎内外の美化。 (2)ゴミの分別を徹底する。	日々の清掃活動およびゴミの分別やその周知が適切に行われたか。
	保 健		(1)生徒が自身の身体と健康に関心を持ち、健康管理・正しい健康行動の実践を目指す。 (2)公衆衛生を心掛け、感染症蔓延防止策の推進。	(1)正しい健康情報の提供ができたか。 (2)健康観察や予防行動が適切に行われ、感染症対策が行われたか。
学校運営	教 務	庶 務	(1)アフターコロナとなり、授業計画と行事について、コロナ禍以前に単に戻すのではなく「本質」と「多様性」を意識した学校運営を図る。 (2)個別の学習支援するため環境整備を行う。また、ICT委員会との連携で情報機器の活用を進める。 (3)ICT委員会と連携し、オンラインでの学習を進めるための職員研修を企画する。 (4)学校の公開や体験入学などの行事を通じて、地元の中学校や地域との連携を図る。	(1)各分掌との連携をとり、状況や生徒の実態に合わせた運営ができたか。 (2)ICT等を活用した、生徒がオンラインで学習するための支援ができたか。 (3)生徒が家庭でオンラインで学習する場合に備えた研修などができたか。 (4)地域や中学校の要望に対して対応や配慮がなされたか。
		報 告 広 告	(1) 新校移行に向けた情報、学校行事や生徒の様子をHPやパンフレットを通じて積極的に発信し保護者、地域、中学生などへの理解推進に努める。 (2)校内ネットワーク管理者と連携して、情報の漏洩や不正使用を防止する観点から、適切な情報資産の整備・管理を行う。	(1)時機をとらえた情報発信ができたか。また、発信した情報等において表現が適切であったか。 (2)学校の業務に必要とされるデータの整備・保存が行われているか。不要な過年度のデータが保存されていないか。
		防 災	(1) 発災を現実的なものと想定し、生徒および職員の具体的な行動を設定し、日々の防災意識を高める。 (2) 校内環境の危険箇所などを把握し、安全な学校づくりに努める。	(1) 各種有事(自然災害、火災、他)における対応について、生徒・職員が行う臨機応変の対処方法等を、訓練などを通して浸透できたか。 (2) 危険箇所等に関する実態を把握し、対応および改善ができたか。
	予 算 施 設		(1)教育活動の充実のため、学校予算の運営を検討協議し、適切な予算の執行を行う。 (2)校内施設や設備の管理・運営について協議推進し、安全かつ教育効果を向上する設備への改善等を検討する。	(1)備品購入費・需用費が適正に執行できたか。また、効果的に運用されたか。 (2)校内施設が有効利用されたか。また、整備・修理が適正に行われたか。
	学 校 運 営 学 校 運 営		学校運営上の課題を明確化し、将来に向けての学校のあるべき姿を検討する。	(1)保護者と職員が協力して生徒のための活動ができたか。 (2)確認しやすい方法での情報発信ができたか。
	P T A		(1)PTA活動の円滑な運営を行う。 (2)保護者に協力していただけるよう情報発信をする。 (3)PTA活動を精査し運営する。	(1)保護者と職員が協力して生徒のための活動ができたか。 (2)確認しやすい方法での情報発信ができたか。 (3)PTA活動を精査し、より保護者とのより良い関係を築くことができたか。
	同 窓 会		同窓会が、本校の教育活動を支援するための橋渡しをおこなう。新校のあり方と共に、来年度予定の創立110周年記念事業の準備を進める。	(1)同窓会が協力できることに対して、日ごろから配慮することができたか。 (2)新校のあり方を、学校職員等と共に検討することができるよう橋渡しができたか。 (3)創立110周年記念事業に向けて、学校、PTA、同窓会の三者が協力できるように配慮する。
	学 校 評 議 会 運 営		学校評議員会を効果的に運営する。	学校の諸課題を学校評議員と共有し、学校外部からの客観的な意見や要望を学校運営に生かすことができたか。
	安 全 衛 生		教職員の健康管理と職場環境改善に努める。	健康診断・人間ドック、ストレスチェックの全員受診ができたか。
	I C T		学校活動の中で、校務、学習、生徒会などICTの積極的な活用を図り、情報活用や思考の共有化を進め、協働した学校作りを目指す	校務や学習、各種活動における情報収集および共有化にむけて、ICTスキルを活用できているか。
将 来 像 検 討		再編計画に基づき学校の将来像を考える。	地域の実情に基づいて将来ビジョンを検討できたか。また、新校に関して丁寧な情報発信行っていたか。	